

こころんNEWS

創刊号
H19年11月

11月21日に開催した職員全体研修を機に、第2次昭和区社会福祉協議会地域福祉活動計画策定にむけての取り組みが本格的にスタートしました。**今回の計画策定のポイントは、社協職員全員が知恵や経験を出し合って策定に関わること**です。全職員のみなさんが関心を持って意欲的に参加していただけるよう、主に計画策定に関わる動きを今後は随時お伝えしていきたいと思ひます。

今までの経過..

昭和区社協には平成15年度に住民参加のもと作成された、16年度～20年度までに社協が取り組む事業の計画を定めた「昭和区社会福祉協議会地域福祉活動計画」があります。この計画の良かった点・反省点をふまえて21年度以降の新たな「第2次地域福祉活動計画」をこれから20年度にかけて策定していくことになりました。

この計画策定には、日本福祉大学の原田正樹先生と名古屋柳城短期大学の長谷中崇志先生にも参画していただき一緒に作業をすすめます。

今回の策定作業のポイントは、

- ① 職員の参加
- ② 関係機関・専門職の参加
- ③ 地域住民の参加

の3つの「参加」を大切にしていきます。

11/21の研修はこの流れ(①職員参加)を受けて実施されました。

◆お世話になる先生◆

日本福祉大学 准教授
原田 正樹 先生



原田先生は全国の複数の社協や行政の計画策定に関わってこられた、超有名な先生です。お忙しいでもいつも優しく丁寧に相談のってくださいます。ノマラゼーションを真に実現していくことが信条。

名古屋柳城短期大学 講師
長谷中 崇志 先生



長谷中先生は昨年からは昭和区社協にいろいろと関わっていただいています。いつも職員と同じ立場に立って一緒に考えてくださる先生です。

◆事務所内の推進体制◆

- 計画推進リーダー 佐野次長
- 計画事務担当 野川
- プロジェクトチーム 局長・佐野次長・三浦次長・主事4人・主任3人

今後の予定..

社協内部の進め方は当面、①職員全体研修 ②プロジェクトチーム会議(事務職員+3主任+両先生) ③事務局会議(局長・両次長・担当・両先生)の3構成で進めていきます。

- ①職員全体研修・・・年明けにもう一度実施予定です。今度はずっと早くお知らせします。
- ②プロジェクトチーム会議・・・第1回目を12/19(水)15時から開催します。
- ③事務局会議・・・これまで2回開催しました。次回は12/4(火)です。

特集

昭和三協職員全体研修スタート！

「昭和三協地域福祉活動計画の策定にあたって」

講師：日本福祉大学准教授 原田 正樹氏
H19.11.21 17:30～19:40 参加者 29名

1. 講義 3つのポイント

●社会福祉法第4条を実現していく計画

① 地域住民（サービス利用者を含める） ②事業者 ③民生やボラなどの活動者が相互に協力し、完全参加・ノーマライゼーションの推進に努めなければならない。
⇒これをどうしたら実現できるかという具体的な計画が、これから策定する活動計画

●地域福祉に求められる総合性

① 生活支援サービス ②専門職のシステム ③環境醸成（ソフト・ハードのバリアフリー）の3つが総合的に広がらないといけない。それが「総合的」にできるのは社協だけであり、だからこそ社協は地域のなかで生き残らなければならない。

「昭和三協が無くなるのは困ると言ってくれる人が何人いるか、それが社協の財産だ！」

●全職員の参加

全職員が関って計画を作らないと「絵に描いたモチ」になってしまう。各職員が日常業務を通して地域ニーズや地域の宝をキャッチし、計画・実行につなげていくことで、最終的には住民ひとりひとりの豊かな地域自立生活を支援していくことが目的。

2. グループワーク（職種を混ぜたA～Eのチームで、カードワークをしました）

カードワーク①「昭和三協のセールスポイントは？」

⇒個々人が出したいいくつかのセールスポイントを整理し、1番のセールスポイントをきめる

<1番のセールスポイント>

Aグループ	「明るく親切」
Bグループ	「親切」
Cグループ	「人種のるつぼ」
Dグループ	「任せて安心」
Eグループ	「親切・明るい」

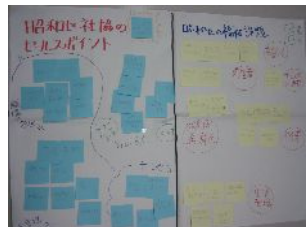
<他に出了たセールスポイント（抜粋）>

人生経験が豊富／元気／石原さん！／連携
女の花園／美人が多い／仕事熱心／雰囲気
が良い／丁寧／会話が深い／おせっかい／
デイ大人気



今後はこれをさらにみんなで精選していきます。それが昭和三協の「顔」になっていくのです。セールスポイントが「親切」だとすれば、これからは、昭和三協の職員として一人一人が常に「親切」を意識していくことが大事になります。

カードワーク②「昭和三協の地域課題は？」



高齢化・・・一人暮らし、孤独、やることのない
障害者観・・・偏見、施設の認知度低い
近隣の関り・・・つながりの希薄化、マンション世帯
環境・・・バリア、店が遠い、坂が多い
ボラ／担い手・・・少ない、高齢化、移動支援など
経済・・・低所得者、格差
社協の力不足・・・存在、事業のPR不足

こうした課題の中から社協としては何を解決していくのか、そのために5年間かけてどうしていくのかということ、今後は具体的に「計画」にしていきます。

（文責：野川）